

まちづくり交付金 事後評価シート
本宮地区

平成20年12月

和歌山県田辺市

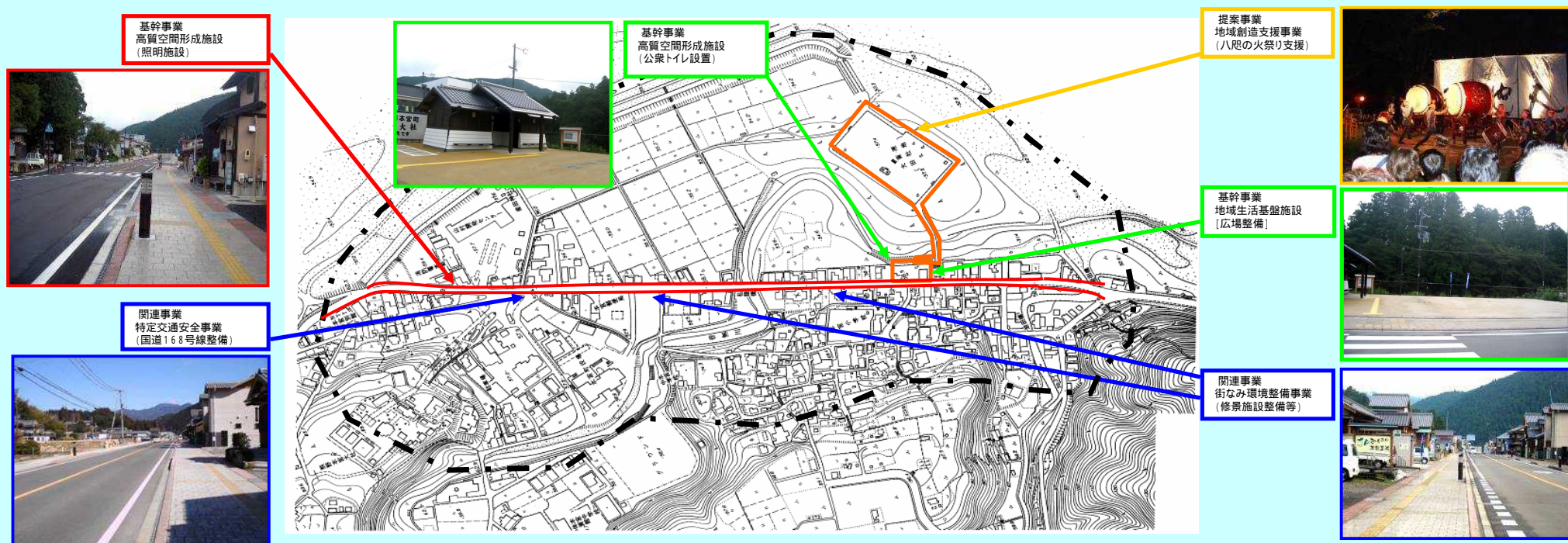
様式2 - 1 評価結果のまとめ

都道府県名	和歌山県		市町村名	田辺市		地区名	本宮地区			面積	35ha		
交付期間	平成18年度～平成20年度		事後評価実施時期	平成20年度		交付対象事業費	90百万円	国費率	40%				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業	地域生活基盤施設：広場整備事業 高質空間形成施設：公衆便所整備事業									
			提案事業	地域創造支援：八咫火祭り支援事業									
	当初計画から削除した事業		基幹事業	なし									
			提案事業	なし									
	新たに追加した事業		基幹事業	高質空間形成施設：歩道照明施設整備事業				地元要望でもあった街並みにふさわしい照明施設を整備することにより、地区内を散策する住民を含めた観光客の安全を確保するだけでなく、歩道誘導を促し地区内の活性化を図るため。		照明施設により夜間における歩道環境が良くなり、目標にも掲げている観光客及び地区住民の安全確保だけでなく、地区内の活性化にも寄与すると考える。			
			提案事業	なし									
交付期間の変更		当初	平成18年度～平成20年度		変更		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響						
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	指標1	観光客の入り込み	人	450,000	H15	1,092,000	H20	-	1,224,000		あり なし	熊野本宮大社を中心とした歴史的景観に配慮した街並み形成を目指したことが、観光客増に繋がった。	H21年6月頃
	指標2	安全な主要道路の改善	%	14	H15	70	H20	-	70		あり なし	国道168線の道路改良工事が順調に進み、主要道路の歩道設置が延長された。	H21年5月頃
	指標3	祭客の参加者	人	1,800	H15	1,800	H20	-	2,000		あり なし	実行委員会の積極的なPRにより、観光客も含めた祭参加者数が増えた。	
	指標4										あり なし		
	指標5										あり なし		
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	その他の数値指標1												
	その他の数値指標2												
	その他の数値指標3												
4)定性的な効果発現状況	世界遺産登録後の観光客の入り込み数増加と、道路環境等の周辺整備により地元でも観光資源を活かしたまちづくりに対する機運が高まってきているように感じる。												
5)実施過程の評価			実施内容				実施状況				今後の対応方針等		
	モニタリング	なし					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						
	住民参加プロセス	八咫火祭り実行委員会 音無の里まちづくり委員会					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				八咫火祭り実行委員会については、主体的な活動にまかせ、市は後方支援に徹する。 音無の里まちづくり委員会については、連携を取りながら今後のまちづくりの方向性などを話し合っていく必要がある。		
	持続的なまちづくり体制の構築	なし					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						

様式2 - 2 地区の概要

本宮地区(和歌山県田辺市) まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
・世界遺産に登録されている本地区の住民意識の活性化 ・道路環境の整備等により本地区に来る観光客及び地区住民の安全確保 ・街なみの修景による魅力あるまちづくり	観光客の入り込み	単位:人	450,000 H15	1,092,000 H20	1,224,000 H20
	安全な主要道路の改善	単位:%	14 H15	70 H20	70 H20
	祭客の参加者	単位:人	1,800 H15	1,800 H20	2,000 H20
		単位:	H	H	H
		単位:	H	H	H



まちの課題の変化	・本宮大社を中心とした国道沿線の観光地としての基盤整備は図れた。 ・整備された基盤を活かすべく地元商店や住民と連携してさらなる沿道の活性化を図り、観光客の散策誘導を促す必要がある。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	・熊野本宮大社周辺の基盤整備はほぼ整いつつあるが、今後のまちづくりについては音無の里づくり委員会と連携し、協働で進める。 ・歩道誘導した観光客に地区の魅力をさらにアピールするために、商店や住民との連携を強化する。 ・八咫の火祭りについては、今までどおり実行委員会が主体となって取り組み、行政はそれに対して十分な後方支援を行う必要がある。